

《地域家庭のメディア活用お手伝い》

甲賀郡 ホームメディアオオツグ
石部町 有限会社大継時計電気店
甲賀郡石部町石部東 2-5-50

石部町は甲賀郡の西端に位置し、町の北部には野洲川が西流し、南端には阿星山がそびえています。古くから伊勢までの街道で栄え、江戸時代には京都を出発した旅人が最初に泊まる宿として賑わった東海道五十一番目の宿場町でした。当時の面影は今も旧街道のあちこちに残されています。本年の5月には石部町西寺に長寿・常楽の理想郷「じゅらくの里」がオープンしました。人口は約12,000人、近年京阪のベットタウン化がすすみつつあるこの石部町で、地域家庭のメディア活用お手伝いを目標にして、地元密着の営業活動を行っているのが今回紹介する「ホームメディアオオツグ有限会社大継時計電気店」です。

信頼される時計電気店を目指して

「当店の創業は昭和27年です。私が京都で時計修理の技術を習得し、実弟が電子部品技術と家電製品の修理技術を身につけ、2人で共同で店舗を石部の旧市街に構え、営業を始めました。」

現在は社長のご子息がほぼ経営全般を取り仕切られていますが、創業当時からの時計、家電製品の専門知識の豊富さと修理技術の高さで顧客の信頼を勝ち取ってこられています。

「時代の変化とともに、年々家電製品の取り扱いのウエイトは高まってきています。製品取り扱い方法や操作方法の説明については特に気を配っており、どのような質問にも気軽に快く受けられる体制をとっています。また自店以外で購入されたいずれのメーカーの商品でも修理は承っています。」

近年は家電量販店の出店が相次ぎ、家電専門店も苦境に立たされていますが、“どんな小さなことでもお客様の要望に応える”ことをモットーに、お客様の小さな声に耳を傾け、家電量販店にはできないサービスを実行し続けることで地域の支持を受けているのです。

今から15年前に石部町を横切る一般県道の石部停車場線が拡幅され、人や車の流れが変わったため、2年前に旧市街地から現在営業されているバイパスへ抜ける一般県道沿いに店舗を移転しました。

地域に根ざした営業活動と顧客フォロー

「石部町の約3,500世帯のうち1,200世帯を自店の見込み固定客世帯に設定しています。年間6回の売り出しを行い、顧客との接点を増やすために、その都度チラシを手配りで、一声添えて各家庭にお届けしているのです。」特に夏と冬の売り出しでは複数の抽選会も併せて実施して、イベント性を大きくしています。

見込み固定客世帯のうち約600世帯が自店で発行していますクレジット機能付きのハウスカードの会員になっています。このカードでは、当店で品揃えしていますどこのメーカーの製品でもクレジットで購入していただけるため、好評を呼んでいます。さらに顧客へのサービスを充実するために、年会費1500円で5年間修理費用無償保証に取り組んでいます。

家庭内メディアの活用サポート

50兆円産業

マルチメディア産業は21世紀には

になるともいわれています。パソコンとテレビなどとの組み合わせによる家庭における文字、図形、映像、音響などの大量な情報の実用化が、現在急速にすすめられています。

店名につけた“ホームメディア”は当店の将来像を表現しています。そのためには、創業以来培ってきた技術の高さや専門知識の豊富さを、パソコンなど今後ホームメディアに欠くことのできない製品において、実現していくことが求められるのです。

石部町は現在も活発に住宅の開発が行われ、人口・世帯ともに増加している地域です。若い世代へのアプローチも含め、新規顧客の開拓を“敏速に・親切に”を合い言葉に今後も行っていくことが新たな需要を生み出していくといえるでしょう。

(中小企業診断士 鐘井 輝)

滋賀県中小企業情報センター「月刊 企業の窓」1998年8月号執筆原稿